

尼崎市におけるAIオンデマンド型交通の検討について

■検討の概要

尼崎市総合交通計画において、暮らしやすさと働きやすさが調和し、人が“つどう”まちを目指す姿に掲げ、目標の一つに利便性が高い交通環境の構築を設定しています。

現状、鉄道・バス等による公共交通ネットワークは一定整備されていますが、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを維持していくためには、人口減少や高齢化の進展などの人口動態の変化や、昨今の運転士不足等の社会情勢の変化等への対応が必要です。

以上のことから、新たな交通サービスの検討を進めていきます。

■本市の基本情報

人口:約45万人 面積:50.70km²

コンパクトな市域に都市機能が集積しており、市域の多くは駅から800m、バス停から300mの徒歩アクセス圏でカバーされている状況にあります。また、平坦で市内の移動は、自転車の利用割合が高い地域特性を備えています。

■市域図



■本市の現状と課題

- ・本市北東部及び南部の一部に、路線バスの利便性が低い地域があります。(1日あたりおよそ1時間に2便未満のバス停が多いエリア)
- ・全国的に路線バスの経営環境は厳しい状況となっており、利便性向上を目的とした路線バスの増便や、新規路線の運行は、経営環境・運転士不足の面から困難であると考えられます。
- ・今後人口減少が進行していく中で、路線バスの特性(定時定路線の大量輸送)の発揮が困難になっていくと考えられます。

■本市が考える解決の方向性

- ・AI等の情報通信技術を活用し、需要に応じて柔軟に運行が可能な効率的な交通サービスの導入を検討しています。
- ・運行事業者、アプリ事業者及び市のコンソーシアムを構成し、国土交通省の「地域交通共創モデル実証プロジェクト」の活用した事業を予定しています。
- ・既存の公共交通と調和しながら持続可能かつ利便性の高い公共交通サービスを形成を検討していきます。

検討内容に対する提案の受け付けについて

■提案等について

上記の検討内容について、事業者からの提案を受け付けます。
ヒアリング等調査や実証実験等の提案を希望される場合は随時問い合わせ先までご連絡ください。
検討内容に資する具体的な提案については、速やかに実施に向けた協議を開始いたします。
なお、市に負担が生じる提案については、予算措置が必要になるため、翌年度以降の実施となります。

■問い合わせ先

尼崎市 都市戦略推進担当
担当:白崎 上村
電話番号:06-6489-6620
メールアドレス:ama-toshisenryaku@city.amagasaki.hyogo.jp